

蟻高  
120周年

# 母校と同窓会のあゆみ

## 戦争に翻弄される女学生

満州事変から15年にわたる戦争の時代における学校生活

昭和13年  
1938年

- 勤労奉仕が始まる  
徴兵により不足した農村の労働力を補うため、授業にさしさわりのない程度で農作業に従事しました

昭和15年 勤労奉仕  
(70年史より)



その頃

1937年  
日中戦争始まる

昭和15年  
1940年

- 松本高女が本郷村の山林を借り受けて学校林を創設 全校生徒で植林を行う  
植えられた樹木は30年後の昭和45年に伐採売却されて、図書館・視聴覚室棟の建設資金の一部となりました

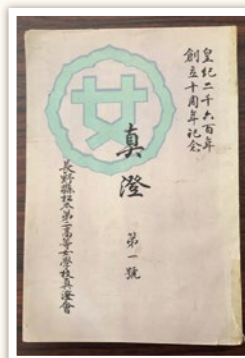


図書館・視聴覚室棟  
(昭和46年建立)

昭和12年  
松本五十連隊射撃場にて  
(100年史より)



- 第二高女創立10周年記念式典  
当時松本女子師範の教員だった、編集者・小説家の臼井吉見の編集により、記念誌『真澄』第1号が発刊されました



第二高女  
創立10周年記念誌  
「真澄第一号」

その頃

1941年  
太平洋戦争  
始まる

昭和19年  
1944年

- 松本高女、第二高女とも時節がら同窓会総会を中止
- 軍需工場への勤労働員が始まる  
松本高女からは呉羽紡績工場や富士電機製造松本工場などへ出動しました



昭和19年 呉羽紡績(70年史より)

### 毎年行われていた講演会の演題にも 当時の世相があらわれています

昭和13年 (1938年)	第二高女	ツナ ヘルトによる講演 『戦争とナチス運動について』
昭和14年 (1939年)	松本高女	五十連隊宮坂中尉による講演 『戦地より』
昭和15年 (1940年)	第二高女	中村孝也による講演 『日本女性の奉仕生活』
昭和16年 (1941年)	松本高女	県翼議会議事の松江大太郎による講演 『新体制に即応する国民の覚悟』
昭和17年 (1942年)	松本高女	羽仁説子による講演 『戦時下における我らの生活を 深く見つめましょう』

昭和20年  
1945年

- 4月から授業が停止になり  
軍需工場での生産に従事させられた

その頃

1945年 太平洋戦争終結